

総務企画委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和元年9月2日（月）～9月4日（水）

◆調査先・調査内容

①津エアポートライン株式会社（三重県津市）

②津市交通政策課（三重県津市）

調査内容：中部国際空港への海上アクセス、高速船の運営状況について

大分空港の利用者は、昨年度16年ぶりに200万人を超え、国際線利用者は過去最高となるなど空港利用者の増加への対応や、また交通ネットワークの多重化の必要性などから、経済界等から空港アクセス改善の声が高まり、県では大分市と空港を結ぶ新たな海上アクセス手段の実現可能性について調査を開始した。本年3月には、実現が可能と考えられる高速船2案、ホーバークラフト1案の計3案を取りまとめ、今年度はこの3案についてさらに具体的に調査を進めている。

そこで今回、中部国際空港と三重県津市を結ぶ高速船について実際の運営状況を調査し、本県の今後の取組について参考に資することを目的に調査を行った。

この海上アクセスは、公設民営のスキームで運営されており、新港の港湾・堤防施設の整備は国と三重県が、旅客船ターミナル・駐車場の整備、運営は津市が行い、高速船自体は津市が、その運営・保守は民間会社の津エアポートライン株式会社が行っている。中部国際空港の開港にあわせ、平成17年2月に海上アクセスの拠点として津なぎさまちが開港し、平成30年度の高速船利用者数は28万9,387人で、過去10年間では最大となった。

調査は、中部国際空港から津なぎさまちまでの高速船に乗船し、運航状況も確認の上、運営会社及び津市の現場担当者から説明を受けた。公設民営のメリットとして、インフラ整備は公、ランニングは民が担い、官民連携でもって運営することによって定期的な意思疎通を図り、責任範囲を明確にして運営ができているとのことであった。課題としては、中部国際空港の利用者数がインバウンドで30%伸びた反面、航路は9%増にとどまるなど、現状ではアウトバウンドの利用が主体となっており、将来の人口減少や原油高・船員不足等に備え、経営基盤の強化やインバウンド誘致、空港や近鉄との連携強化を図っているとのことであった。

本県における海上アクセスに向けては様々な課題が想定されるが、今回の実際の海上ルート現場で得た情報を、今後の県の調査状況にあわせ、意見の反映等に結びつけることができる有意義な調査となった。

<主な質疑等>

- ・公設民営について
- ・採算性、持続可能な運航について



③内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局（東京都千代田区）

調査内容：地方創生に向けた国及び全国の取組状況について

本県では、長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の中間見直しとあわせ、次期「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」の策定に向けて検討を進めている。

そこで今回、地方創生の推進役である内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局を訪問し、国の施策体系や全国の最新動向を調査し、本県の今後の取組について参考に資することを目的に調査を行った。

調査は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局の島田勝則参事官から、第1期における地方創生の現状、第2期の方向性・新たな視点、主要な取組（「関係人口」の創出・拡大、プロフェッショナル人材事業、企業版ふるさと納税、地域商社、DMO、地方創生推進交付金など）、令和2年度税制改正要望、次期「地方版総合戦略」の策定などについて、体系的に説明を受けるとともに、全国の取組事例も交えながら、意見交換を行った。

本県が取り組んでいる「大分県まち・ひと・しごと創生本部」を設置した意見交換の方法は、首長本人が出席することで、各市町村が抱えている課題の共有や対応策の意見交換が率直に行われ深い議論ができていたとの事例紹介もあるなど、様々な課題解決に向けた国の動向や、各県で行われている工夫を学ぶ機会となった。

<主な質疑等>

- ・東京圏への人口集中について
- ・企業版ふるさと納税について



④大分県東京事務所（東京都中央区）

調査内容：東京事務所の活動状況について

東京事務所は、東京都中央区銀座2丁目のヒューリック西銀座ビルの6階をメインとし、8階にはおんせん県おおいた課を配置し、同じ8階に位置する大分の食材を提供するフラッグショップ「坐来大分」とともに、首都圏に向けた大分の情報発信を担っている。

本年度は（1）大分県版地方創生に資する首都圏情報のタイムリーな収集・伝達、（2）ラグビーワールドカップのレガシーにつなぐ観光・物産情報等の発信、（3）大分県の強みを活かした企業誘致と移住の推進を重点項目として取り組んでおり、職員との意見交換を通じて、普段は立ち寄ることが難しい東京の現場での活動状況を理解することができた。

<主な質疑等>

- ・移住相談の状況について

